

環境経済学 2008 年度 中間試験

レポート論題

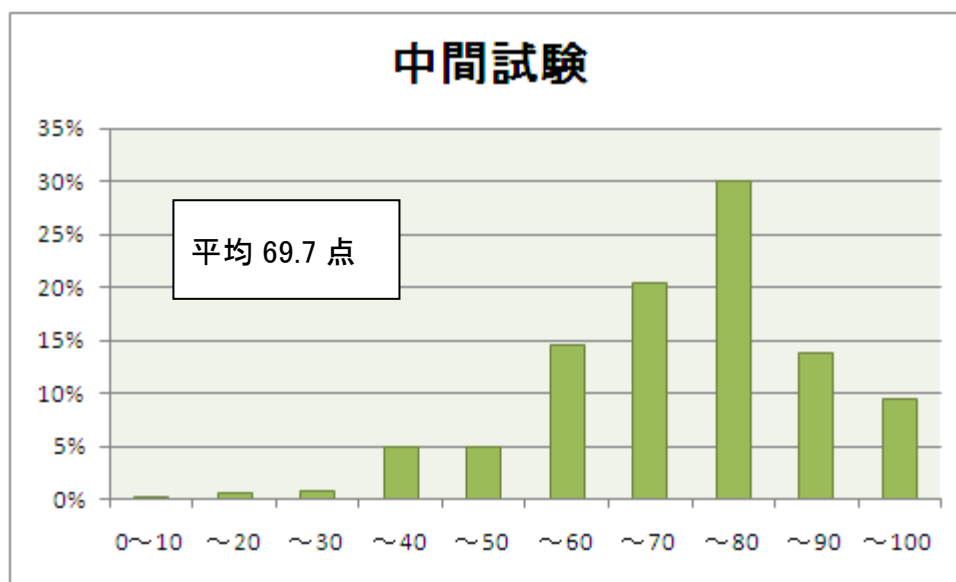
環境政策手段のうち、直接規制、環境税、排出量取引のそれぞれの特徴について経済モデルを用いて説明しなさい。また、現実に行われている環境政策の事例を調べて、その問題点について議論しなさい。

採点基準

- 直接規制・環境税・排出量取引のそれぞれの経済モデル(配点 15 点×3)
- 政策事例の問題点に関する考察(配点 20 点)
- 論理的に議論が展開されているか、レポートの書式が正しいか(配点 15 点)

コメント

- 経済モデルは、数式またはグラフで説明すること。単に語句説明にすぎない場合は減点対象。
- 環境政策の事例は、直接規制・環境税・排出量取引のそれぞれに示した場合でも、どれか一つの場合でも構わない。
- 政策事例の問題点について分析したものが少なかった。単に自分の印象や感想を述べるだけでなく、経済モデルによる分析やデータにもとづいて環境政策の問題点を議論することが重要。
- ウェブサイト等からコピーした場合、引用箇所と出典を示す必要がある。示されていない場合、該当部分は0点とする。



環境経済学 2008 年度 期末試験

レポート論題

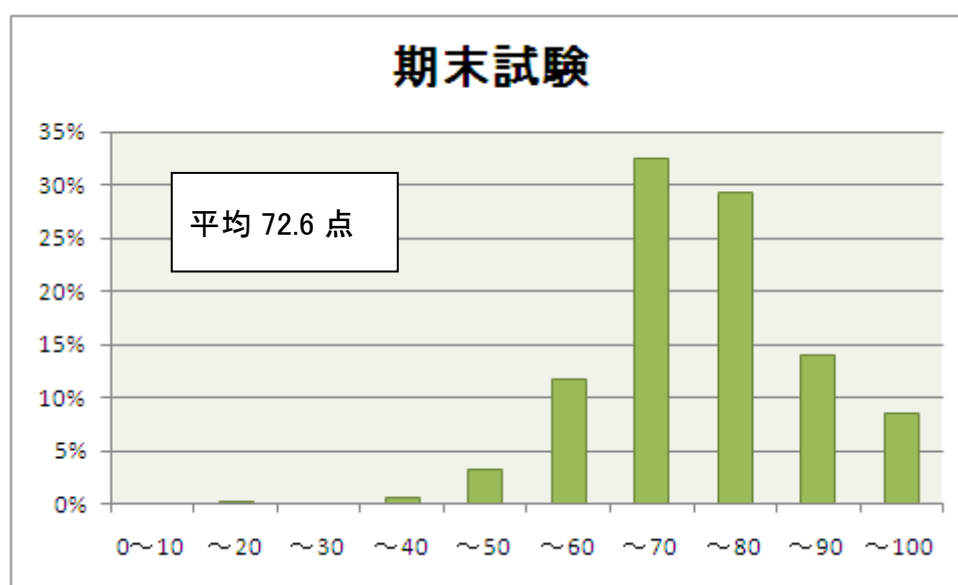
企業の環境報告書を調べ、(1)企業がどのような環境リスクを抱えているのか、(2)企業の環境対策の費用と効果がどのように評価されているのか、(3)環境規制を受けて企業の技術開発がどのように変化しているのか、(4)企業の環境対策の今後の課題は何か、について講義内容をもとに考察しなさい。

採点基準

- 環境リスク、環境対策の費用と効果、環境規制と技術開発、今後の課題(各配点 20 点×4)
- 論理的に議論が展開されているか、レポートの書式が正しいか(配点 10 点)
- 独自の分析が行われているか(配点 10 点)

コメント

- 企業の環境報告書にもとづいて議論することが必要。一つの企業でも構わないし、複数の企業をとりあげても構わない。
- 環境対策技術を紹介するだけのものが多いが、環境規制と環境技術との関係を示すことが必要。企業が技術開発を行った背景にどのような環境規制が存在するのかを分析することが求められる。
- 論題には「講義内容をもとに考察しなさい」とある。したがって、講義で扱ったような経済モデルによる分析が必要。
- 今後の課題では、単に自分の印象や感想を述べるだけではなく、経済モデルによる分析やデータにもとづいて企業の環境対策の問題点を議論することが重要。
- ウェブサイト等からコピーした場合、引用箇所と出典を示す必要がある。示されていない場合、該当部分は0点とする。



成績評価

中間試験(100点)＋期末試験(100点)＋小テスト(50点)＋オンデマンド講義出席(50点)

以下の割合で相対評価

秀	優	良	可	不可
10%	30%	34%	17%	9%

注: 受験者は含まず